滋賀県障害者文化芸術活動推進計画に基づく施策の推進について（案）

資料 5

2019年度(現在)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度以降
計画策定期	実践的モデル事業（プレ事業）の展開	県立近代美術館再開館	先進的事業の効果を生かした取組の全国的へ波及	

「滋賀県障害者文化芸術活動推進計画」策定

◆障害者アート公募展

◆障害者の文化芸術活動を推進する地域拠点づくりモデル事業

◆アール・ブリュットネットワークフォーラムの開催

◆アール・ブリュット魅力発信事業（ふらっと美の間）

「親しむ」

◆アクセシビリティ・コンサートの開催

障害の特性に配慮し、多様な鑑賞サポート機材を利用した実演芸術公演の実施（@びわ湖ホール）

◆ 地域の劇場・音楽堂等での文化芸術体感事業

住民に身近な市町の公立文化施設での公演やワークショップの企画・実施

「つなぐ・支える」

◆共生社会における文化芸術拠点機能のあり方検討

障害の有無にかかわらず、文化芸術を介して時間と場所を共有し、様々な交流が生み出される場づくりの検討

◆障害者等の文化芸術活動を支援するための人材交流研修会の開催

文化施設職員と福祉事業所職員間の中間支援の手法等について検討する全国規模の研修会の開催

◆劇場・音楽堂等での演劇等ワークショップ事業

2021年度のフェスティバルでの公演・展覧会に向けて、障害の有無を超えた表現者によるワークショップを実施

「活かす」

◆障害者等の舞台芸術発信事業

県内の実演芸術団体の公演や、県内の文化財を舞台にした公演の実施

◆近代美術館オープニング企画展開催準備

2021年度の再開館時に開催する企画展のための作品調査等の準備

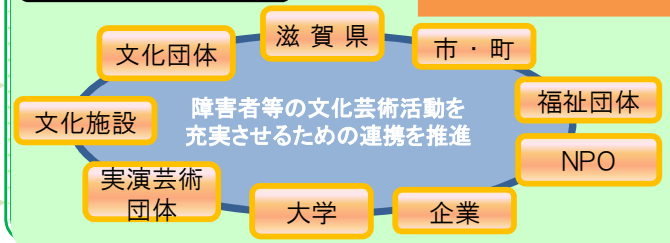
◆県内作家による障害者芸術展の開催

（仮称）
文化芸術×共生社会フェスティバルの開催

県立近代美術館再開館を記念した企画展覧会の開催や、牽引力のあるトップレベルの劇場・音楽堂であるびわ湖ホール、地域の文化拠点としての文化産業交流会館等を中心に、多様な主体が連携し、県内各地で文化芸術活動を展開。

先進県として、モデル事業を全国に発信。

事業実施体制



地域の文化芸術活動を支える拠点機能の充実

障害のある人が身近な文化芸術に対してアクセスできる環境づくり

国スポ・障スポの開催に向けた発信力の高い事業の検討

文化芸術×共生社会フェスティバルの定期的な事業展開の検討(しくみづくり)